

各 位

2024年12月27日

SBI XDC Network APAC 株式会社

SS トレーディング株式会社

SBI XDC Network APAC、SS トレーディングとブロックチェーンを活用した 中古自動車等輸出手続効率化及び貿易金融スキーム確立に向けた取り組みを開始

SBI XDC Network APAC株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：近藤 智彦、以下「SBI XDC」）とSBIグループで中古自動車部品及び中古自動車の輸出・販売を行うSSトレーディング株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：正田 匠、以下「SST」）は、中古自動車部品及び中古自動車の輸出手続効率化及び新たな貿易金融スキームの確立に向け提携し、SBI XDCが持つ技術を用いた貿易書類のブロックチェーン上への記録、及び輸出商品の船積み期間中のファクタリングを行う取り組みを開始いたしました。

1. 背景と目的

世界的に拡大を続ける貿易取引に関して、複雑かつ時間を要する手続きを電子化することで貿易手続きの効率化を図る取り組みが各国で検討されてきており、本邦でも貿易文書電子化に関する法案の提出が2025年度に予定されております。また、日本から各国への中古自動車関連輸出に関しては、需要が一層高まるなかで競争力、優位性確保のための資金需要対策も急務とされています。

このような環境下でSBI XDCとSSTは、ブロックチェーン技術の特性である情報の透明性、模倣困難性、スマートコントラクトによる取引の自動化等を活用した取引の記録及び債権ファクタリング等の貿易金融スキームの構築により解決を目指すべく、両社が連携することで、実際の貿易取引シーンでのブロックチェーン活用のユースケース拡大につなげるとともに、中古自動車部品及び中古自動車本体需要の拡大に対し、供給サイドで求められる業務効率化、運転資金効率化等により取引数量の増加を促進し、更なる市場の拡大に寄与していきたいと考えております。

2. 本取り組みの概要

現状、SSTが行っている紙面をベースとした貿易情報の売り手側、買い手側とのやりとりの円滑化、効率化を目指し、当該貿易情報のXDC Networkブロックチェーン上への記録を行います。また、日本国内輸出業者の資金需要に柔軟に対応するため、輸出商品の船積み期間を貸出期間とする債権ファクタリングをSBI XDCが組成し、SSTに対して実施します。

具体的には、SSTが行っている日本からアラブ首長国連邦に向けた中古自動車部品コンテナの輸出取引情報をSBI XDCがXDC Networkのブロックチェーン上に記録するとともに、日本国内での荷積みからアラブ首長国連邦での荷下ろしまでを期間設定とする債権ファクタリングを実施します。なお、売上債権の回収に関してはSSTにより行われます。

<スキーム概要>



<輸出商品コンテナイメージ：SSTあきる野パーツヤード>



3. 今後の展開

今後は、SSTにおいて経常的に行われている日本・アラブ首長国連邦間での輸出取引について、その取引情報のXDC Networkのブロックチェーンへの記録に関し、SST側での取引情報の入力、取引内容の閲覧が可能となるよう、ユーザーインターフェイスの開発に着手します。

また、SBI XDCからのファクタリングも継続的に実施し、SBI XDC及びSST双方にメリットを

もたらずファクタリングスキームの確立も目指すとともに、スマートコントラクトを活用した貿易金融スキームの実施・債権回収までの自動化を目指してまいります。

■SBI XDC代表取締役 近藤 智彦のコメント

一般的な貿易取引では、輸送にかかるリードタイムの長さ、煩雑な取引フローは、輸出入双方にとって資金需要、事務処理負荷の面で大きな課題となっています。SSTでは、SBI XDC出資元が拠点を持つUAEへの輸出取引を手掛けており、売掛債権管理含む事務手続に課題感を持つ同社との連携は、SBI XDCが目指す貿易金融効率化のユースケースとして、非常によいモデルケースになると感じております。

今後、XDC Networkを中心とした、海運業者や輸入業者等各ステークホルダーを含めた書類電子化、決済、取引債権回収の自動化に向けた取り組みを進めるにあたっての第一歩となればと考えております。

■SST代表取締役 正田 匠のコメント

当社の海上コンテナを用いた輸出品数は中東・南米の法人顧客を中心に年々増加傾向にあり、本年においてはアラブ首長国連邦に支店を開設し、置場販売も手掛けていることから、当社における貿易債権の管理業務が煩雑化してきております。同国に拠点を持つSBI XDCとのパートナーシップは、ハードの側面からみても最良であると判断しました。

今回のSBI XDCとの取り組みを通じて、貿易業務と資金繰りを最適化することで、さらなる受注件数の増加を目指します。

■SBI XDC Network APACについて

SBIホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：北尾 吉孝）とXDC Networkを展開するTradeFinex Tech.（本社：アラブ首長国連邦ドバイ、Co-Founder：Atul Khekade、Ritesh Kakkad）との合弁会社で、取り扱うXDC Networkは、貿易金融の効率化を目的とし、企業間の利用に特化したレイヤー1パブリックブロックチェーンである特性を持っています。

XDC Networkが備える革新的なソリューションをAPAC地域に展開するため、貿易金融ソリューションの提供、サブネット企業とのパートナーシップ拡大、XDCの取扱いを希望する暗号資産取引所のサポート等を行なっています。

<https://www.SBI XDC.network/>

■SSトレーディング株式会社について

SSトレーディングは、SBIグループとSOMPOグループの合弁会社です。

グループ内外から発生する使用済自動車を中心に、自社工場で引取・解体を行い、資源リサイクルを行う他、世界各国の新興地域を対象に、中古自動車部品及び中古自動車の輸出版売を行っております。

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBI XDC Network APAC 株式会社：sbixdc_contact@sbixdc.network

SS トレーディング株式会社：sst@ss-trading.jp